

令和7年度「いわて新農業人チャレンジファーム」第11回研修を開催しました！

第11回研修は、令和7年7月25日（金）、26日（土）に、雫石町南畑のコテージむらにおいて開催しました。

今回は、岩手の花き栽培についての講義と、実習野菜の栽培管理作業の実習を行いました。

講義では、（一社）安代リンドウ開発花き栽培技術アドバイザー兼八幡平市花き研究開発センター花き開発技術嘱託員の阿部潤氏を講師にお迎えして、我が国及び本県における花きの生産量や栽培面積の推移などについて解説いただきました。

本県の花き生産の特徴として、露地栽培でのリンドウ及び小ぎくの生産がメインであり、切り花の生産がほとんどである、とのことでした。

併せて、減反政策に乗じたリンドウ栽培や県の花き振興政策など、本県の花き栽培における歴史などについてもお話いただきました。

実習では、実習ほ場のパイプハウスにおいてトマトの管理作業を行いました。収穫の後に花房へのホルモン処理やわき芽かき、下葉かきなどを行いました。

次に、露地ほ場において、オクラの収穫作業を実施しました。適期よりもやや肥大したオクラを収穫しながら、茎の硬さや着果の向きに驚いている受講生も見られました。

最後に、ピーマン及びナスの剪定を行いました。それぞれの枝を誘引ひもに巻き付けたあと、ピーマンは2節止め、ナスは切り戻し剪定を行い、今回の研修を終了しました。

第12回研修は、令和7年8月1日（金）、2日（土）に雫石町南畑のコテージむらにおいて、栽培管理③（生理障害、気象対策）、キャベツの栽培についての講義と、じゃがいもの収穫や実習野菜の管理作業などを実施する予定です。



講義「岩手の花き栽培」においてリンドウの需要について説明する阿部潤氏



トマトの花房へホルモン処理をする受講生



ナスの枝を切り戻し剪定する受講生



オクラの果実を収穫する受講生